

2025年度自己評価公表

聖隸こども園こうのとり豊田 教育・保育理念

キリスト教の精神を基本理念とし、児童福祉法・児童憲章にのっとり、健康で安全・安心な乳幼児の保育・教育を目指します。

- *愛されて、愛する心を知り、お互いが大切な存在であることを知る。
- *一人ひとりの違いに気付き、お互いを認め合いながら共に主体的に生活する。
- *自己発揮できる環境の中で創造性を育てる。
- *在園・地域の子育て家庭が心豊かな環境で子育てができるように支援する。

2025年度の重点目標

- ・教育・保育の質の向上への取り組みとして、乳児クラスではゆるやかな育児担当制を継続し、自分の生理的リズム、発達や行為のテンポに応じて見通しを持ち、主体的に生活できるよう援助する。また、幼児クラスにおいても、主体的に遊びや生活を行えるような保育・教育を開拓し、子どもと共に創る保育を目指していく。
- ・成長や発達、興味や関心を子どもの姿をよりとらえ、園内研修やディスカッションを通して定期的に遊びの環境を見直しながら保育実践を行っていく。

評価項目別の達成および課題状況項目	自己評価・課題
第1章 総則 教育・保育の基本 1. 教育・保育の基本 2. 教育及び保育の配慮 3. 教育課程・全体的な計画、指導計画作成と評価 4. 特別支援教育・障害児保育 5. 「育みたい3つの資質・能力」と「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」 6. 子どもの発達	5. 「育みたい3つの資質・能力」「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」について、職員それぞれが意識をして保育をしているが、実際にどの部分がつながっていくのか言葉での説明が難しいことが課題としてあがった。「知識及び技能の基礎」「思考力、判断力、表現等の基礎」「学びに向かう力、人間性等」をより具体的に説明ができ、なつかつより保育に反映していくことができるよう、職員で知識を深める機会を設けていくことが必要である。

保育者のための自己評価チェックリスト

～保育者の専門性の向上と園内研修の充実のために～による自己評価より